

ザリガニのだっぴ

ザリガニのだっぴ

ザリガニの体は、かたいからでおおわれています。からは大きくならないので、ザリガニは古いからをぬいで大きくなります。これを、だっぴといいます。

だっぴをしたばかりのザリガニは、体はさみもやわらかいです。ザリガニは、ぬいだからを食えいべることがあります。からの栄養えいようを、新しい体につかうのです。

はさみがとれてしまっても、だっぴをすると、小さなはさみが生えてきます。だっぴをくりかえすうちに、もとの大きさにもどります。

① 古いからをぬいで大きくなることを、何といいますか。

だ
っ
ぴ

② だっぴをしたばかりのザリガニの体は、どうなっていますか。

ア とてもかたい。

イ やわらかい。

ウ 赤く光っている。

③ ザリガニは、ぬいだ何を食くべることがありますか。

ぬいだ

か
ら

④ はさみがとれてしまうと、どうなりますか。

ア 二度と生おえてこない。

イ だっぴをすると、また生おえてくる。

ウ 足がはさみにかわる。

おうちの方へ

- 「これを、だっぴといいます」のように、ことばの意味を説明している文に注目します。